



令和 8 年 10 月 6 日  
国 土 交 通 省  
九 州 地 方 整 備 局

サーキュラーエコノミーポート選定証手交式を行います。

国土交通省港湾局では、令和 8 年 8 月 27 日に「循環経済拠点港湾（サーキュラーエコノミーポート）」として全国 29 港を選定しました。このたび、選定港である三池港（港湾管理者：福岡県）、北九州港（港湾管理者：北九州市）に対し、選定証の手交式を行います。

■開催日時

令和 8 年 10 月 15 日（木） 14：30～

■開催場所

東福第二ビル 1 F 101 号室（福岡市博多区博多駅東 2-9-1）

■選定対象港

三池港（港湾管理者：福岡県）

北九州港（港湾管理者：北九州市）

※サーキュラーエコノミーとは、資源や製品の価値を維持、回復又は付加することで、循環的に利用する経済システムであり、製品等の長寿命化、再利用、リサイクル等の取組を循環資源の需給両面から促進し、天然資源利用や廃棄物排出を減少させる経済システムです。



サーキュラーエコノミーポートは、循環資源の流動・種類の増大、小口の循環資源の輸送ニーズへの対応、周辺環境や他の貨物への影響を防止するための対策など、サーキュラーエコノミーを巡る様々な社会的要請に取り組む港湾であり、港湾管理者、リサイクル関連企業、物流事業者、関係省庁など、多様な主体と共に連携しながら、サーキュラーエコノミーの実現を目指すものです。

詳細は下記 URL・右記 QR コードをご確認ください。

[港湾：循環経済拠点港湾（サーキュラーエコノミーポート）](#)・[国土交通省](#)

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 小池、椎原 TEL：092-418-3358

★ 取材のお申し込みは「別紙」を参照下さい。

# 「サーキュラーエコノミーポート選定証手交式」

## 取材登録

※取材をご希望の場合は、以下のフォームから10月13日（火）12時までにお申し込み下さい。

※当日は14：15までに会場へお越し下さい。受付は交付式会場内でございます。

※カメラ撮影は可能です。取材の際、報道機関名が確認できる取材者証(腕章)等の着用をお願いいたします。

### 【取材申し込みフォーム】

<https://forms.cloud.microsoft/r/1ntEverMgR>



申込締切：令和8年10月13日（火）12時

ご参考：当日の式次第（令和8年10月15日(木) 14:30～15:00）

1. 開式
2. 挨拶（九州地方整備局 副局長）
3. 選定証交付
4. 各選定港代表ご挨拶（福岡県 様、北九州市 様）
5. 閉式

※閉式後、記念撮影を行います。

※次項以降はご参考です。

令和 8 年 8 月 27 日  
 国 土 交 通 省  
 九 州 地 方 整 備 局

## サーキュラーエコノミーポートを初めて選定します！ ～港湾を核とした物流システムの構築による広域的な資源循環の促進～

国土交通省港湾局では、循環経済（サーキュラーエコノミー）の実現に向け、循環資源に関する物流ネットワークの拠点の形成や高度なリサイクル技術を有する産業の集積に取り組む港湾を「**循環経済拠点港湾（サーキュラーエコノミーポート）**」として29港を選定します。

九州管内では「北九州港」、「三池港」が選定されます。

### 1. サーキュラーエコノミーポート

サーキュラーエコノミーとは、資源や製品の価値を維持、回復又は付加することで、循環的に利用する経済システムであり、製品等の長寿命化、再利用、リサイクル等の取組を循環資源の需給両面から促進し、天然資源利用や廃棄物排出を減少させる経済システムです。

サーキュラーエコノミーポートは、循環資源の流動・種類の増大、小口の循環資源の輸送ニーズへの対応、周辺環境や他の貨物への影響を防止するための対策など、サーキュラーエコノミーを巡る様々な社会的要請に取り組む港湾であり、港湾管理者、リサイクル関連企業、物流事業者、関係省庁など、多様な主体と共に連携しながら、サーキュラーエコノミーの実現を目指すものです。

### 2. 選定結果の概要

今般、提出があった選定申請書について審査を行った結果、いずれの港湾についても、サーキュラーエコノミーに係る港湾貨物の取扱、高度な分別収集・再資源化施設の立地、小口・多種多様な循環資源の輸送、貨物取扱環境の整備、港湾間の連携等による輸送効率化やサーキュラーエコノミーへの貢献についての実績や計画が認められ、選定要件を満たしていることを確認しました。そのため、申請のあった全29港を、サーキュラーエコノミーポートに選定します。

| 港湾名   | 港湾管理者     | 港湾名   | 港湾管理者 | 港湾名         | 港湾管理者       |
|-------|-----------|-------|-------|-------------|-------------|
| 室蘭港   | 室蘭市       | 小名浜港  | 福島県   | 境港          | 境港管理組合      |
| 苫小牧港  | 苫小牧港管理組合  | 相馬港   | 福島県   | 徳山下松港       | 山口県         |
| 石狩湾新港 | 石狩湾新港管理組合 | 千葉港   | 千葉県   | 宇部港         | 山口県         |
| 八戸港   | 青森県       | 木更津港  | 千葉県   | 三島川之江港      | 愛媛県         |
| 釜石港   | 岩手県       | 川崎港   | 川崎市   | 須崎港         | 高知県         |
| 大船渡港  | 岩手県       | 姫川港   | 新潟県   | 宿毛湾港        | 高知県         |
| 秋田港   | 秋田県       | 伏木富山港 | 富山県   | <b>北九州港</b> | <b>北九州市</b> |
| 船川港   | 秋田県       | 三河港   | 愛知県   | <b>三池港</b>  | <b>福岡県</b>  |
| 能代港   | 秋田県       | 舞鶴港   | 京都府   | 中城湾港        | 沖縄県         |
| 酒田港   | 山形県       | 姫路港   | 兵庫県   |             |             |

### 3. 選定港概要

サーキュラーエコノミーポートの選定は初めの取組であり、その位置図は以下のとおりです。また、各港の概要は別紙-1 のとおりです。



(参考)

国土交通省港湾局では、循環資源を効率的に取り扱うために、港湾管理者等による港湾での循環資源の蔵置、保管等を行う循環資源取扱支援施設の整備に対する支援を行っております。

また、環境省環境再生・資源循環局では、「再生材供給サプライチェーン構築支援事業」において、港湾管理者等による港湾での循環資源の荷役設備等の整備を支援する予定であり、特にサーキュラーエコノミーポート選定港での整備については、支援対象の審査にあたり加点措置が講じられる予定です。(※詳細は今後の環境省の報道発表をご確認ください。)

なお後日、九州地方整備局にて、選定書の交付を行います。(日程については後日公表します。)

#### ＜お問い合わせ先＞

港湾局 海洋・環境課 佐々木、佐藤

TEL:03-5253-8111(内線 46674、46673) (直通)03-5253-8685

九州地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 小池、椎原

TEL:092-418-3358(内線 323、337)

**北九州港の風力発電**  
発電能力 243.3MW  
220MW(25基)/6.6MW(2基) 他

**北九州港の太陽光発電**  
発電能力 122.8MW  
42.9MW/13MW 他

**北九州港のバイオマス発電**  
発電能力 224.0MW  
112MW×2

**風力発電事業**

**超硬合金リサイクル事業**

**バイオマス発電事業**

**パチンコ合リサイクル事業**

**ガラスリサイクル事業**

**バイオマス発電事業**

**環境環境コンビナー**

**警リサイクル団地**

**響灘RP岸壁**

**汚泥・金属等リサイクル事業**

**廃木材・廃プラスチックリサイクル事業**

**北九州市エコタウンセンター**

**古着リサイクル事業**

**食品廃棄物リサイクル事業**

**都市鉱山リサイクル事業**

**太陽光パネルリサイクル事業**

**基地港湾**

**ひびきコンテナターミナル**

**R-1号倉庫**

**日本製鉄**

**凡例**  
太陽光発電  
風力発電

**北九州港後背地に立地するリサイクル関連企業**

## 1. 三池港概要

- 港湾管理者 福岡県
- 担当部署 福岡県県土整備部  
港湾課
- 地元自治体 大牟田市
- 三池港は福岡県の南端「大牟田市」に位置し、有明海に面する重要港湾で、県南地域の物流拠点として発展。  
内港北地区の公共埠頭には2つの岸壁を整備し、神戸港との国際フィーダー定期航路を備え、諸外国との交流を推進。平成15年にリサイクルポート指定を受け、多様なリサイクル関連企業が集積しており、保有技術、設備を活かした事業の推進が図られている。



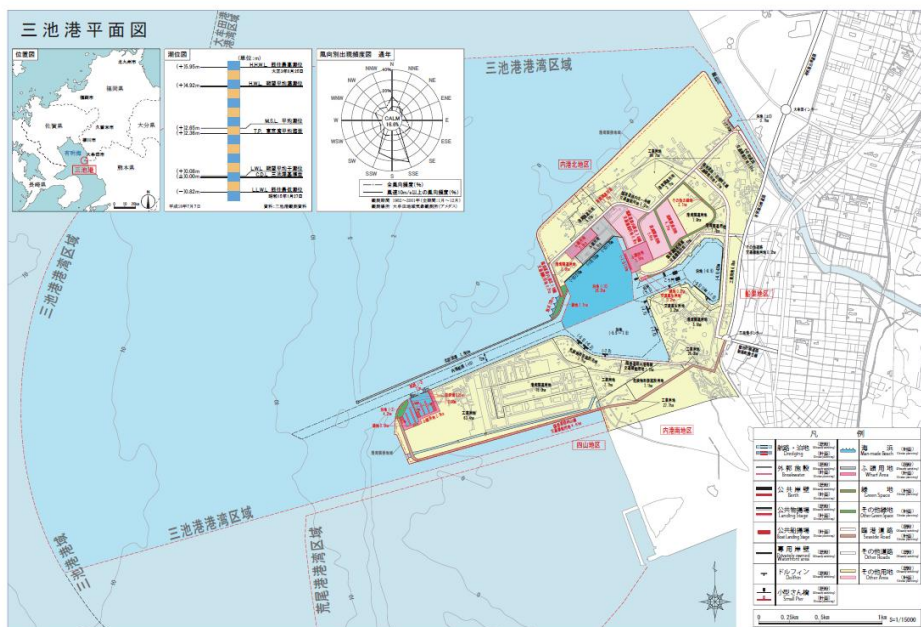
地理院タイル（地理院地図Vector（試験公開）（ベクトルタイル））を加工して作成

## 2. 申請港のサーキュラーエコノミーへの取組や貢献

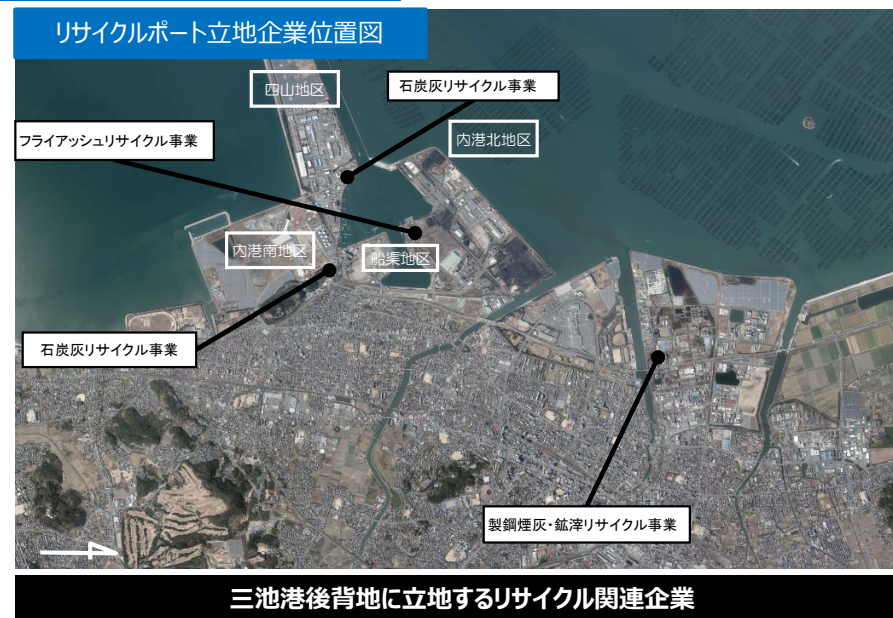
- 近年における循環資源取扱貨物量は30万トンを超え、近年増加傾向にあることから、リサイクルポートとしての役割を拡大しています。
- 大牟田エコタウンを中心に資源リサイクル産業、また、公害を克服してきた技術やノウハウに基づく省エネ・省資源をはじめとする環境関連産業が集積しており、「有明海側拠点港(リサイクル貨物)」として、広域的な資源循環ネットワークの形成に寄与して参りました。
- ☆ 隣接する臨海工業団地には、リサイクル関連企業が進出しており、循環資源貨物の集積が進み、太陽光・バイオマス等の再生可能エネルギー発電施設の立地が進んでおり、これらの資源の有効活用や再生可能エネルギーの導入を通じて、地域における循環型社会の形成とサーキュラーエコノミーの協力を図って参ります。

○：実績  
☆：計画 【参考】

## ■ 位置図（港湾計画図）



## 3. その他



三池港後背地に立地するリサイクル関連企業